

# きれい 甲斐

No.61 MARCH 2013

環境パートナーシップやまなしは、県民・事業者・行政のパートナーシップ（協働）のもと、団体間の連携や情報交換の場づくりなどを通じて、自主的な環境保全活動を積極的に展開していくことを目的として様々な活動を行っています。環境保全に関する活動を積極的に行っている団体、個人のみならずのご入会をお待ちしています。

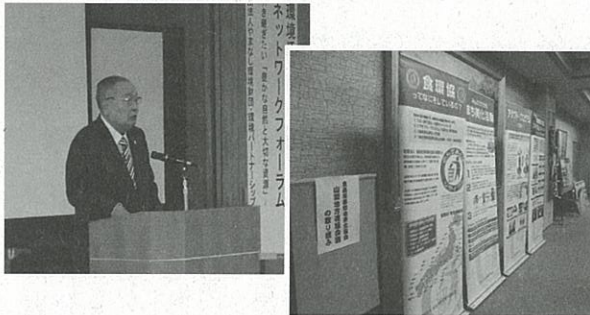
**環境パートナーシップやまなし**  
事務局 ●〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1丁目6-1 山梨県環境創造課内  
TEL.055-223-1503 FAX.055-223-1507 ✉ kankyo-sozo@pref.yamanashi.lg.jp  
ホームページ [「パートナーシップやまなし」検索](#)



古紙配合率100%再生紙を使用しています

発行責任者 ● 広報専門部会長 中澤 晴 親

## やまなし環境活動推進ネットワーク フォーラムを開催しました



環境パートナーシップやまなしは、1月26日（土）に「やまなし環境活動推進ネットワークフォーラム」を公益財団法人やまなし環境財団との共催で開催しました。

当日は約140名もの方々に参加していただき、午後1時から4時まで環境保全に向けた取り組みについて活発な情報交換がなされました。

前半では、環境保全に向けた活動を実践している3団体から日頃の活動内容について発表していただきました。

### 米笠ホテル愛育会の活動報告

最初に、「米笠ホテル愛育会」からは「地域のホテルを蘇らせよう」と題して、地域のホテルを蘇らせるために、研究室の設置から活動を始め、ホテルの放流や総延長250メートルのホテルブロックを整備するなど地道に活動した結果、ホテルが見られるようになったことが紹介されました。

現在は「ホテル祭り」を通じて自然保護、環境保全についての啓発活動を行ったり、地域の小学校の児童との交流を図ったりと、ホテルの飼育や保全のために様々な活動を実施しているとのことでした。

### 生活協同組合市民生協やまなし森づくりの会の活動報告

続いて、「生活協同組合市民生協やまなし森づくりの会」からは、「櫛形山での森づくりの取り組み」と題して、「環境保全林再整備事業」への参加や県有林の下草刈りなどの森林整備活動を経て、荒廃して樹木の生えていない箇所にも木を植えて育てていく活動に発展したこと、森林をフィールドにした自然観察やクラブづくり、炭焼きなどの体験活動を盛り込み、楽しみながら取り組んでいる様子が紹介されました。

今年度からは下草刈りなどの作業や年間の活動について自主的に取り組む森づくりサポーターの制度も始まったとのことでした。

### 公益社団法人食品容器環境美化協会山梨地方連絡会議の活動報告

最後に、「公益社団法人食品容器環境美化協会山梨地方連絡会議」からは、「きれいなまちづくりを目指して」と題して、「アダプト・プログラム」の普及と推進活動やそれに対する助成を行っていること、学校表彰事業等の環境教育を支援する活動などが紹介されました。

今後も「アダプトプログラム」の推進サポート役として、また、自分の住むまち、地域をきれいにするという「美化の心」を次の世代に引き継いでもらうために青少年を対象とした「環境教育支援」などを通して、「きれいな街づくり」の実現に向け取り組んでいきたいとのことでした。





## ワークショップでの意見交換

後半では、公益財団法人やまなし環境財団の「みんなで守ろう!水と森林」と環境パートナーシップやまなしの「ごみ減量とリサイクルの推進」の2つのテーマに分かれて、全員参加型のワークショップを行いました。

環境パートナーシップやまなしのワークショップでは、参加者から「ごみ減量とリサイクルの推進」の実現のために、「食料品等余計なものを買わないようする」、「マイバッグ、マイはしを使うなど、自分ができることから始める」、「生ゴミを減らすためひとしほりしてゴミに出すようにしている」、「ゴミの分別について自治会で各世帯に指導する」、「出張講座の実施など学校での教育が重要」など様々な取り組みや意見が発表され、活発に意見交換が行われました。



ネットワークフォーラムに参加していただいた方にアンケートを実施した結果、9割近くの方から役に立ったとの回答をいただきました。

## 会員の取り組み

# ～「緑の募金」で身近な緑を豊かにしています～

### 公益財団法人 山梨県緑化推進機構



公益財団法人山梨県緑化推進機構は、県内の緑を守り育て、次世代に引き継いで行く県民運動を推進する母体として平成7年に設立されました。以来、緑化思想の普及啓発、森林整備・環境緑化の推進に関する事業を緑の募金により得た寄付金と当法人の持つ基金の運用益を使って実施してきました。

各事業は県内の市町村、学校、自治会、NPO法人等の各種団体に公募を行い、その後、審査会で採択要件に照らして採否を決め、交付金を交付する方法により、水源林の植樹活動から地域での花苗の植え付けによる環境緑化運動など幅広い活動を展開しています。

また、次世代を担う青少年に対する普及啓発活動としては、学校林の整備、緑の少年隊の育成、森の教材「くらしと森林」の発刊、緑化ポスターコンクールの実施などに積極的に取り組んでおります。

平成24年度には、県民の皆様からのご支援により5,545万円もの緑の募金が集まりましたが、今後ともこの「緑の募金」を活用して、県民が将来にわたって豊かな水と緑に恵まれた生活を享受できますよう、緑化活動をすすめてまいりますので、さらなるご協力をお願いいたします。



水源林での植樹作業



緑の少年隊活動

[ホームページ](#)

[山梨県緑化推進機構](#)

[検索](#)

## 社団法人山梨県トラック協会



（社）山梨県トラック協会ポスター

また、走行中の燃料消費を抑え、安全管理や事故防止にも効果のあるエコドライブも、より多くの事業者が取り組めるよう「エコドライブ推進マニュアル」を作成し積極的にバックアップしています。

さらに東京・大阪など都市部で独自に実施されている排ガス規制に対しても、低公害車等の導入促進のため助成事業を実施しています。加えて、環境保全の啓発とトラック運送業界の取組への理解促進を目的に、毎年「環境づくりの標語」募集を行っています。優秀作品は「トラックの日」のイベントで表彰し、山梨県トラック協会のポスター等に掲載するなど広報活動に活用しています。

私たち山梨県トラック協会は、基本行動指針と11の環境対策からなる「環境基本行動計画」のもと、引き続き真剣に環境保全対策に取り組んでまいります。



平成24年度「トラックの日」イベントにおける「環境標語の表彰式」  
山梨県森林環境部長表彰（最優秀賞）

絆と心を荷台にのせて  
走れ！トラック 緑の道を  
平成24年度環境標語最優秀作品

ホームページ

山梨県トラック協会

検索

### お知らせ

「きれい甲斐」は、送付方法を①郵送、②メール配信、③県ホームページからダウンロードの3種類から選択できます。現在の送付方法から変更を希望される方は、事務局までご連絡ください。

環境パートナーシップやまなし事務局（県環境創造課内）

TEL:055-223-1503/FAX:055-223-1507 E-mail:kankyo-sozo@pref.yamanashi.lg.jp

### 投稿募集中

#### 【会員紹介コーナー】

①A5版程度で、原稿と写真等を入れて構成してください。②団体等の名称、所在地（事務局または事務所）、連絡先を必ずお書きください。③内容は、活動紹介やPRなど自由です。④締め切りは特にありません。

#### 【行事予定】

○主催団体名、日時、場所、内容、申込み方法、連絡先等をお教えてください。

# やまなし環境教育等推進行動計画を策定しました

県では、このたび環境教育等促進法に基づく「やまなし環境教育等推進行動計画」を策定しました。

## 《策定の背景》

- ・地球環境問題が深刻化している
  - ・東日本大震災後人々の間に価値観や意識の変化が生じている
  - ・県は、クリーンエネルギーの導入と省エネルギー対策を両輪とするエネルギーの地産地消を県政の中長期的な目標に掲げている
- これらのことから、環境教育の果たす役割がますます重要になっている。

## 《策定経過》

平成24年 10月	環境教育等促進法施行
平成24年 11月	第1回庁内検討会
平成25年 1月	第1回山梨県環境教育等推進協議会 第2回庁内検討会
平成25年 2月	第2回山梨県環境教育等推進協議会 パブリックコメント
平成25年 3月	策定

## 《行動計画のポイント》

### 1 趣旨

環境教育を推進する上での基本的な考え方、各主体の役割と協働取組の方向性、県施策の方向性を明示

### 2 基本的な考え方

- ・環境教育の目的：環境に関心を持ち、自らの責任と役割を理解し、自ら行動できる人材の育成
- ・重点事項：環境問題を客観的かつ多角的にとらえること、地域を教材として学ぶこと等

### 3 様々な場における環境教育と実践例

- ・自発的な活動につながるよう具体的な取り組み例を体系的に整理

### 4 県の施策

- ・人材の育成・活用、情報の提供（環境学習指導者派遣等）
- ・環境学習の機会の提供（フォーラムの開催、「体験の機会の場」の認定等）
- ・地球温暖化防止に向けた環境教育の推進（やまなし省エネ県民運動の推進等）
- ・本県の特徴をいかした環境教育の推進（森林環境教育の推進、クリーンエネルギーに関する環境教育の推進等）
- ・協働取組の推進（環境パートナーシップやまなしの活動の推進、レジ袋削減の推進等）



山梨県環境科学研究所での環境学習



自然エネルギーの学習



米倉山太陽光発電所  
(一般家庭3,400軒分の年間使用電力量に相当する約1200万kWhの電力を一年間に生み出しています)

※行動計画では、環境教育に関する施策や施設を紹介しています。詳しくは行動計画をご覧ください。

ホームページ

やまなし環境教育等推進行動計画